

2010年A P E C（アジア太平洋経済協力）首脳会議の横浜開催を
求める決議

A P E C（アジア太平洋経済協力）は、貿易、投資の自由化、円滑化及び経済技術協力の推進を基本原則として、世界経済発展のため多角的な自由貿易体制の維持強化を積極的に進め、世界に開かれた協力を目指した活動を行う世界最大の地域協力であり、その首脳会議は、21カ国・地域の首脳が議論する世界最大級の国際会議となっている。

横浜は、1859年の開港以来、国際都市として日本の近代化を牽引するとともに、貿易立国日本の物流や生産の拠点として、日本経済の発展を支えてきた。

また、アジア太平洋都市間協力ネットワーク（シティネット）の会長都市を務め、域内各都市との技術協力等を通じてアジア太平洋地域の発展に貢献するとともに、地球環境の保全、向上につながるさまざまな都市問題の解決に努めている。

さらに、国際コンベンション都市として、多くの大規模なイベントや会議の誘致を進め、本年5月には第4回アフリカ開発会議が開催され、市民や経済界が一体となって会議運営を支援し、総合的な会議開催能力を示すことができた。

2010年のA P E C首脳会議を横浜で開催することは、開港以来150年という歴史の中で、飛躍的な発展をなし遂げてきた先人たちの英知を引き継ぎ、未来に向けて積極的に挑戦していく絶好の機会になるばかりでなく、国際コンベンション都市としての機能の充実や地位をより一層高めるとともに、国際平和を希求し国際社会において中心的役割を果たそうとする今後の日本の活力につながるものと確信する。

よって、横浜市議会は、2010年A P E C首脳会議の横浜における開催を強く要望する。

以上、決議する。

平成20年6月19日

横浜市議会